

[様式1-2]

復活の異動願(届)

全採用年度共通

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
下記のとおり願出(届出)いたします。

返還誓約書の機構送付(学校記入項目。送付済の場合は。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

学 校 名	届 出 年 月 日	2 0 年 月 日
	生 年 月 日	年 月 日
学部・学科(課程・研究科)	学 籍 番 号	
	学 年	年
奨学生番号※	フリガナ	
① 0 ② 0	氏 名	印 (省略不可)
※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入。	(自 署)	

以下、該当する異動種別及び異動事由をで選択。**太枠は必須。**

復活(奨学生の自署・押印が必要)

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 <input type="checkbox"/> 卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	休学日 20 年 月 日	休学決定日※ 20 年 月 日	※休学決定日に基づく異動始期で「休止」とした場合は必ず記入。 記入がないと振込超過と判断され、振込再開が遅れることがあります。
	復学日 20 年 月 日	卒業期 20 年 月 (見込)	

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 <input type="checkbox"/> 卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	復活希望年月※ 20 年 月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者・学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が適及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
	卒業期 20 年 月 (見込)		【留学情報】欄 記入上の注意
学校	国名		※1 通常はいずれか1つに <input checked="" type="checkbox"/> を付ける。 留学中に複数の身分が存在する場合は <input checked="" type="checkbox"/> を付けず、 <input type="checkbox"/> 内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。
	留学時の身分※1	<input type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学	
	上記で選択した身分の期間※2	1. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)	※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で <input checked="" type="checkbox"/> を付けた期間を記入する。 「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に <input checked="" type="checkbox"/> でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。
	国費情報(ある場合のみ)※3	<input type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 年 月 ~ 20 年 月	※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。
	留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)からの復活】		
奨学生	※卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。		
学校	復活年月 20 年 月	卒業期※2 20 年 月 (見込)	

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(長期履修学生の貸与先送り)からの復活】		
奨学生	復活希望年月※1 20 年 月	※1 復活希望年月は奨学生本人が希望する任意の年月。 ※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。	
学校	卒業期※2 20 年 月 (見込)		

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日
学校名 岡山大学学務部学生支援課長
関係課長(※) 職印

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
086 - 251 - 7178 ()	1 0 7 0 0 3	

※証明者は課長相当職以上の方としてください。なお、職印の押印・省略については、各学校の公印取扱規程等の定めに基づき取扱ってください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金貸与業務(返還業務を含む)、奨学金給付業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(機構使用欄)	最終振込年月	第一種: 20 年 月 第二種: 20 年 月
	振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	第一種: か月 第二種: か月
	要返戻金額	第一種: 円 第二種: 円
	異動始期	第一種: 20 年 月 第二種: 20 年 月

提出先	郵送の可否	スカラAC入力
異動・補導係	異動種別による(※)	異動種別による(※)

「異動願(届)」の記入例「復活」

【 休止(通常の休学)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	学校	休学日 20 19 年 10 月 1 日 復学日 20 20 年 4 月 1 日	休学決定日※ 20 年 月 日 卒業期 20 23 年 3 月 (見込)

● 休止(通常の休学)からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
- ・奨学生本人は「復活の開始」を選択可能。未選択でもよいが、その場合は自動的に「卒業に合わせる」となり、場合によっては振込再開が遅れることがある。

(例) 2018年10月1日から2019年3月31日まで休学し、2019年4月1日付で復学した。この休学により、卒業期が2021年3月から2022年3月に延期した。「復活の開始」は「卒業に合わせる」。

⇒ ○2019年10月から振込再開 貸与終期2022年3月

⇒ ×2019年4月から振込再開 貸与終期2021年9月 (総貸与月数は変わらない。)

- ・「復活」できる時期から3か月経過後に願出があった場合は、届出年月日の属する月から振込再開。
- ・休学決定日に基づく異動始期で「休止」とした場合は、必ず「休学決定日」欄も記入。記入がないと振込超過と判断され、振込再開が遅れることがある。

【 休止(留学)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	<input type="checkbox"/> 学籍上の日付 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	復活希望年月※ 20 年 月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者・学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が遡及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
学校	卒業期	20 23 年 3 月 (見込)	
	国名	アメリカ合衆国	
	留学時の身分※1	<input checked="" type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学	
	上記で選択した身分の期間※2	1. 20 19 年 10 月 1 日～ 20 20 年 9 月 3 日 (2. 20 年 月 日～ 20 年 月 日)	
	国費情報(ある場合のみ)※3	<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 19 年 10 月 ～ 20 20 年 9 月	
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【留学情報】欄 記入上の注意	
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	※1 通常はいずれか1つに <input checked="" type="checkbox"/> を付ける。留学中に複数の身分が存在する場合は <input checked="" type="checkbox"/> を付けず、□内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。 ※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で <input checked="" type="checkbox"/> を付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に <input checked="" type="checkbox"/> でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。 ※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。	

● 休止(留学)からの復活の注意点 (【留学情報】欄の注意点は「休止(留学)」と共通)

- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
- ・奨学生本人は「復活の開始」を選択可能。未選択でもよいが、その場合は自動的に「卒業に合わせる」となり、場合によっては振込再開が遅れることがある(詳細は前記「● 休止(通常の休学)からの復活」参照)。
- ・「復活」可能な時期は「留学終期の翌日の属する月」。ただし、海外留学支援制度又は官民協働海外留学支援制度の受給者、あるいは学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者は、それ以外の「復活」も可能。詳細は「【貸与奨学金】2019年度 奨学事務の手引」第5-2-4頁参照。
- ・「復活」可能な時期から3か月経過後に願出があった場合は、届出年月日の属する月から振込再開。

【 休止(長期欠席)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)からの復活】	
奨学生		
学校	復活年月 20 20 年 1 月	卒業期 20 21 年 3 月 (見込)

● 休止(長期欠席)からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
- ・復活年月は学校が把握する通学再開の時期。奨学生本人の選択ではない。例えば、1月から通学を再開した奨学生が長期欠席中の11月からの振込再開を希望しても認められない。
- ・卒業期が長期欠席前と比べて延期している場合は「復活」不可。成績を理由とした「廃止」又は「停止」の認定報告が必要。

【 休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活 】

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活】	
奨学生	復活希望年月 20 21 年 4 月	
学校	卒業期 20 23 年 3 月 (見込)	

● 休止(長期履修奨学生の貸与先送り)からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署・押印が必要。
- ・復活希望年月は奨学生本人が希望する任意の年月。
- ・「休止」時点から卒業期が延びていないことを確認。